

東海地区協議会 2020年度

会務担当副会長 ご挨拶

会務担当副会長 廣中健太郎

東海地区協議会は、82会員会議所を抱える国内有数の規模を誇り、先駆けの団体として「とうかい号」をはじめとする数多の運動を展開することで、この日本をリードしてきました。本年度も、82会員会議所の英知と勇気と情熱を結集させ、地域の発展に貢献する運動や会員会議所内の強固な組織基盤を構築することが、我々の責務であると考えます。

まずは、会員減少に歯止めをかけるべく、時代に即した組織改革を構築するために、メンバーが持続可能な組織の形態を考えられる機会を提供し、組織改革に向けた運動を促進できる知識及び必要性を提言します。そして、社会で活躍できる人材を育成する組織であり続けるために、女性会員の参画の機会を確保し、組織改革の促進に寄与します。また、現状と今後の組織運営の在り方を考える機会として、地区内メンバーが組織改革の必要性を認識し、提言書の内容を取り入れ、より良い組織の構築を実現させます。さらに、各地域の核として能動的に行動を起こせる人財へと成長を促すために、82会員会議所から共感を得られる事業を実施し、JC運動を牽引していく使命感を醸成します。

青年会議所という学び舎を通じて、会員がJAYCEEであることに誇りを感じ、提言に基づいた現状と今後の組織運営の在り方を伝えるとともに、会員一人ひとりが当事者意識をもって自己成長を行える学びを提供することも急務であると考えます。そして、会員一人ひとりが組織の一員として、大きな成長を遂げ、社会のあらゆる分野で活躍し、憧れの存在となれば会員会議所内の活性に大きくつながると考えます。さらに、組織改革に対する意識を十分に浸透させ、1年間を通じ、約4200名を有する東海地区内メンバーのつながりを最大限に発揮し、誰もが輝き希望溢れる東海を創造して参ります。